

# 町の家計簿を公表します 令和3年度決算報告

町民の皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をよりよくするためにさまざまな形で使われています。これらがどれくらい納められ、どのように使われているかを知っていただくための令和3年度決算を報告します。

○自主財源は19.3%  
町の財源には、町税などの自分たちで収入を得る「自主財源」と地方交付税などにより国や県などから交付される「依存財源」の2種類があります。自主財源が多いほど、自主性が高い町づくりができます。

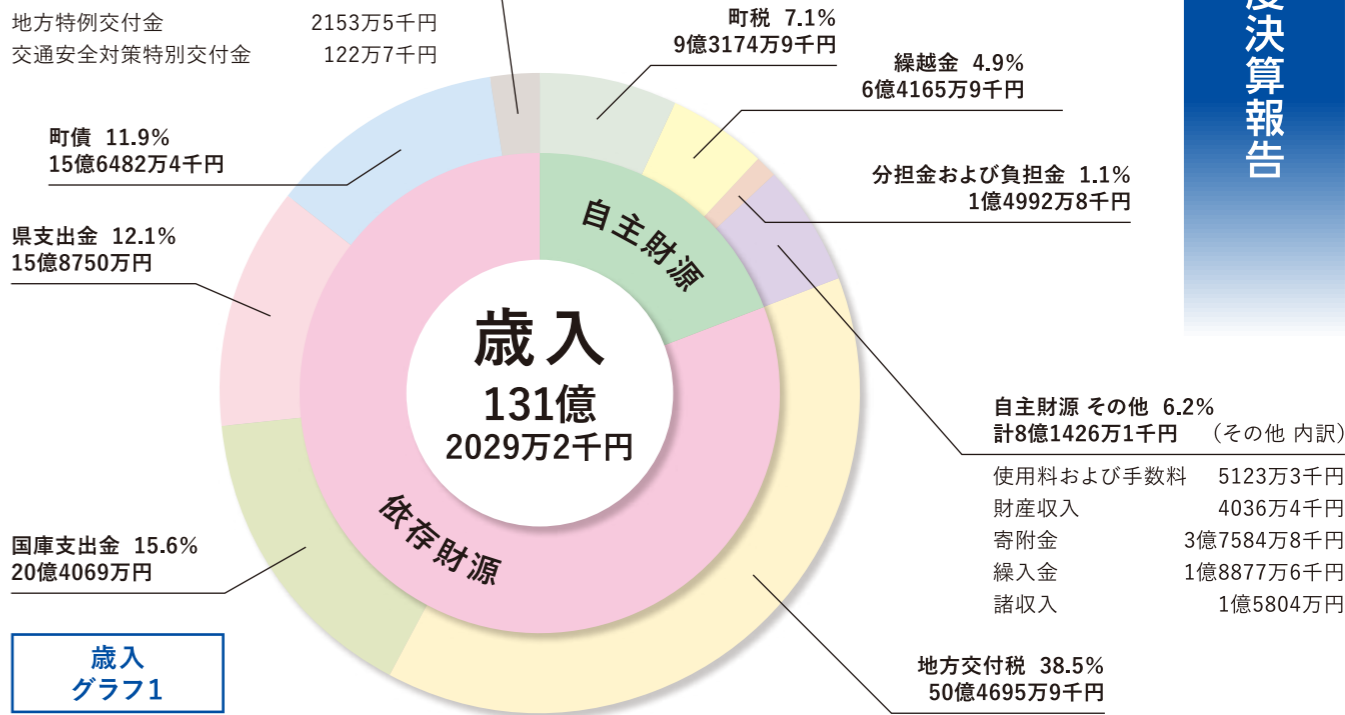
○普通会計決算の概要(1)  
令和3年度は、「第2次長島町総合振興計画」の最終年度として、町道や農林道改良事業のほか、地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策事業を積極的に実施してきました。この結果、普通会計で3年連続となる120億円を超える決算となりました。

決算収支の状況は歳入総額131億2029万円、歳出総額123億6132万円、歳入歳出差引額は7億5897万円。実質単年度収支は2億7125万円の黒字となりました。

歳出では、指江庁舎改修事業1億666万7千円や総合運動公園整備事業1億654万2千円、地方創生港整備交付金事業(長島港)1億6808万円などを実施したため、投資的経費は31億8758万9千円となりました。

依存財源 計3億4272万2千円 (その他 内訳)

地方譲与税	7525万7千円
利子割交付金	49万9千円
配当割交付金	207万9千円
株式等譲渡所得割交付金	288万4千円
地方消費税交付金	2億2618万7千円
自動車税環境性能割交付金	377万円
法人事業税交付金	928万4千円
地方特例交付金	2153万5千円
交通安全対策特別交付金	122万7千円



歳入 グラフ1

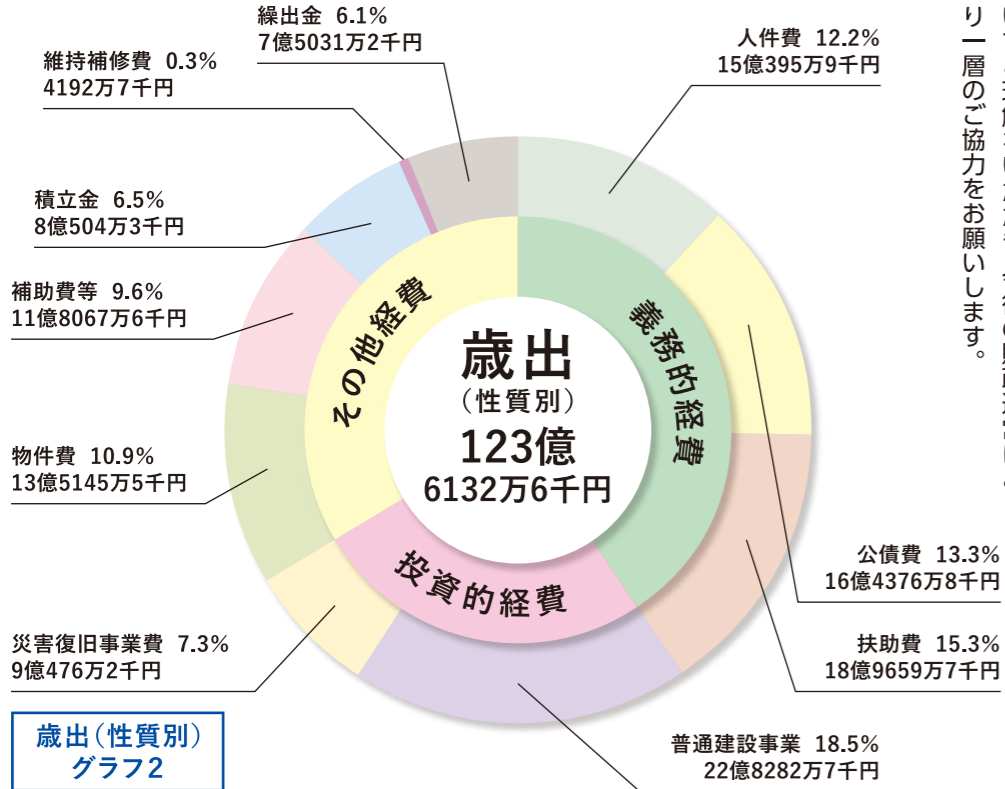
○普通会計決算の概要(2)  
積立金は、学校教育施設整備基金4億円、夢追い獅子島架橋基金1億9991万3千円、夢追いふるさと長島景観基金4096万2千円などを積み立て、基金残高は58億5029万5千円で前年度比6億5360万8千円の増額となりました。

この結果の報告を通じ、町財政の実情についてご理解をいただき、今後の財政運営により一層のご協力をお願いします。

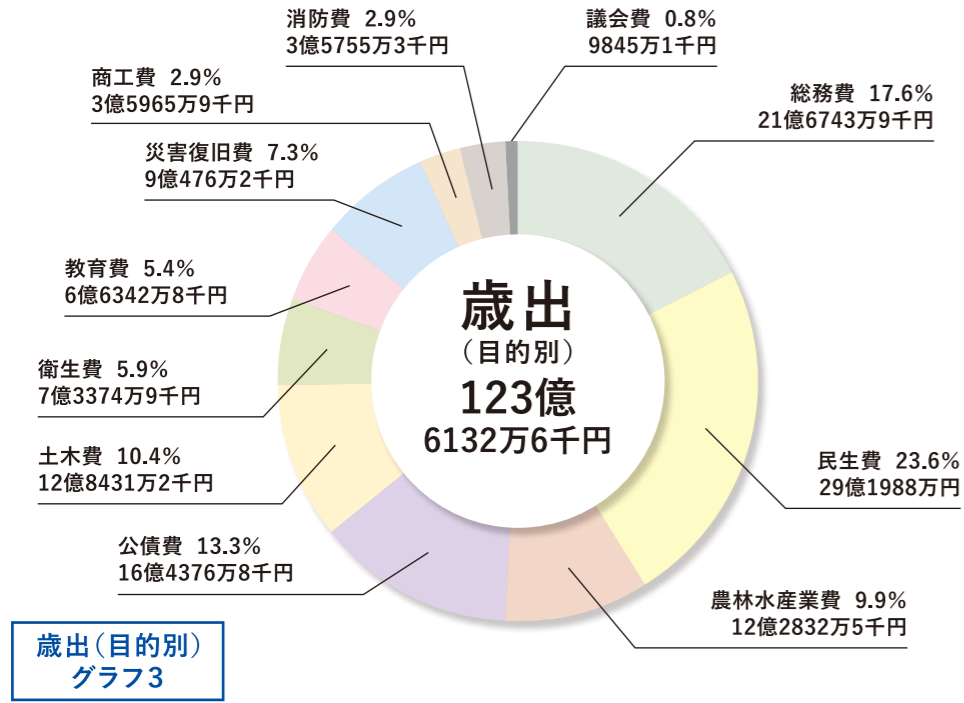
○義務的経費が40.8%  
義務的経費とは、町で働く職員の人件費や国などへの借金返済額を表す公債費、児童や高齢者などを支援するための扶助費のことです。

○地方消費税率の引き上げ分に係る使途の明確化について  
平成26年および令和元年に消費税率(国・地方)が引き上げられたことに伴う地方消費税の増収分はその使途を明確化し、社会保障施策に要する経費(人件費以外)に充てることとされています。

本町の令和3年度の地方消費税(社会保障財源化分)は、1億3207万9千円となり、これらは「障害者自立支援給付事業」「高齢者生活支援事業」「子ども医療費助成事業」「予防接種事業」「母子保健事業」に活用されました。



歳出(性質別) グラフ2



歳出(目的別) グラフ3

## ○行政用語の解説

- 歳入「グラフ1」
  - 地方交付税 国から一定の基準により交付されるお金
  - 町税 町民税、固定資産税など町民の皆さんが納める税金
  - 線越金 前年度から本年度へ持ち越したお金
  - 繰入金 町の基金などから繰り入れたお金
  - 国庫・県支出金 各種事業に対する国・県から交付される補助金
  - 町債 町が借り入れたお金
- 歳出(性質別)「グラフ2」
  - 人件費 町職員の給与や退職金、議員や委員の報酬などの経費
  - 扶助費 児童・高齢者・生活困窮者などを援助するための経費
  - 公債費 事業を行うために借り入れたお金の償還金
- 補助費等 各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金などの経費
- 繰入金 他会計に支出する経費
- 普通建設事業費 道路橋りょう、港湾、公営住宅などの建設事業に要する経費
- 歳出(目的別)「グラフ3」
  - 総務費 全般的な管理事務、企画調整事務、財政事務、選挙事務などの経費
  - 民生費 社会福祉、身体障害者、老人福祉、児童福祉などの経費
  - 衛生費 保健事業、感染症予防、廃棄物処理などの経費
  - 農林水産業費 農・林・漁業振興対策の経費
  - 土木費 道路橋りょう、河川、港湾、公営住宅などの経費
  - 消防費 消火、防災防除、災害時被害軽減などの経費
  - 教育費 教育委員会、小・中学校、社会教育などの経費